

2009年4月15日

HSBC プレミア、「トリプルカレンシー・デポジット」の 取り扱いを開始

～3ヶ月もの、年 10.0% (税引き後、年 8.0%)～

ロンドンに本拠をおく世界有数の金融・銀行グループである HSBC は、2009年4月15日（水）より、HSBC プレミア専用『トリプルカレンシー・デポジット（円建て通貨交換特約付ストラクチャード預金）』の取り扱いを開始することを発表いたしました。

HSBC プレミアのお客様の外貨建て金利商品への投資ニーズに対応した新たな投資商品としてご提供する『トリプルカレンシー・デポジット』は、日本円でお預け入れ頂き、元本が日本円、米ドル、ユーロの三通貨のうちいずれかの通貨で満期償還されるストラクチャード預金（仕組預金）です。満期償還の元本通貨に関係なく、預け入れから満期までに年 10.0%^{注1)}（税引き後年 8.0%）の金利が日本円で付与されます。

『トリプルカレンシー・デポジット』では、お預け入れ時に当行が決定する米ドル、ユーロの各ストライクレート^{注2)}と満期償還日の2営業日前の午後3時時点での実勢為替レートによる判定結果に基づき、満期償還される元本通貨が決定します。

日本円をお預けの際に決定したストライクレートよりも、実勢為替レートが、米ドル、ユーロ双方とも円安の場合は、日本円で満期償還されます。米ドルのみがストライクレートよりも円高の場合は、米ドルで満期償還され、ユーロのみがストライクレートよりも円高の場合は、ユーロで満期償還されます。米ドル、ユーロが共にストライクレートよりも円高の場合は、円高方向への乖離が最も高い方の通貨にて満期償還されます。

次頁に続く

HSBC プレミア、「トリプルカレンシー・デポジット」の取り扱いを開始/2

日本円以外の米ドル、ユーロで満期償還される場合には、預け入れ時に決定したストライクレートで円が外貨に転換されるため、満期時点での実勢為替レートで日本円に再転換した場合に、元本割れするリスクがあります。

ストライクレートの決定にあたっては、米ドル、ユーロの条件設定日に決定されるベースレートからそれぞれ1%、円高水準に設定しております。低金利が続く日本において、通常の外貨建て及び邦貨建て定期預金の金利よりも高い米ドル、ユーロ建ての金利商品に投資したいという HSBC プレミアのお客様の投資ニーズにお応えするために設計された商品です。

注記:

- 1: 金利は20%の源泉分離課税前、平成21年4月14日時点での適用条件。適用金利は募集期間ごとに見直されます。
- 2: 通貨交換特約に基づき、当行が定める基準為替レートです。

HSBC グループ

HSBC グループの持株会社である HSBC ホールディングス plc は英国に本部を置いています。HSBC グループは世界で1億の顧客に対してサービスを提供しております。HSBC グループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中東、アフリカにまたがる86の国と地域に9,500を超える拠点を擁し、2008年12月末現在2兆5,270億米ドルの総資産を持つ世界有数の金融グループです。

日本における香港上海銀行

HSBC グループの母体行である香港上海銀行(本店・香港)は、日本で140年以上営業を続けており、事実上、日本で最も長い歴史を持つ銀行です。現在、東京と大阪に支店を展開しています。法人向けの金融業務、プライベートバンク業務や HSBC プレミアなどの個人向け金融業務を提供しています。

HSBC プレミア

HSBC グループの個人向け金融業務で、成長が著しいマス富裕層にグローバルな個人向けウェルスマネジメント・サービスを提供しています。2000年にサービスを開始し、2007年5月には、サービス内容などを一新したインターナショナル・サービスを開始しました。すでに、世界の42の国と地域で300以上の HSBC プレミアセンター(店舗)が設置されており、260万人以上の顧客にサービスを提供しています。世界中どこにいても自国にいるような感覚で利用できる銀行サービスであり、日本では、お預り資産残高が1,000万円以上のマス富裕層のお客様のための専門銀行サービスとして、クオリティの高い個人向けウェルスマネジメント・サービスを提供します。日本では、2008年1月にサービスを開始しました。これまでに関東圏の赤坂、銀座、広尾、丸の内、横浜、池袋、神戸に HSBC プレミアセンターが開設されており、日本全国の HSBC プレミアセンターの支店網は7店舗です。

以上